

令和4年度 修文学院高等学校 学校評価（計画）

【教育目標】

知的で、明るく、たくましく、共感力をそなえ、国家、社会に貢献できる人間力を養う。

【グランドデザイン】80年の歴史・伝統に、新たな息吹を吹き込む「修文新時代」構想 ～「不易と流行」、「統一性と多様性」のバランスをどう図るか～

[目標領域1] 文武両道・全人教育(人間力の育成)

- 1 学院訓「推譲・明朗・強健」人間力育成の不易の価値と位置づけ、あらゆる機会を通して、その具体化を図る
- 2 男女共学化・新学習指導要領実施のもと、多様な生徒に対応できる「個別最適な学び」を実践する
- 3 人生100年時代に相応しい「学びの姿勢(どう学ぶか)」を身につけ、学びの土台をつくる
- 4 心の教育を推進し、共感力・自立心やたくましい精神力を養う
- 5 学校を取り巻く社会の変化に対応できる資質・能力を育てる

[目標領域2] 教育は人なり(教師力の向上)

- 1 予習・授業・復習のサイクルを明確にした「修文メソッド」を各教科で確立し、徹底させる
- 2 教員の授業力向上

[目標領域3] 地域に信頼される学校(地域連携・高大連携の充実)

- 1 地域社会に貢献し、地域の教育力を活用する
- 2 高大連携の充実

【今年度の重点目標】

- 1 社会人となるための基本を身につけさせる —「あ・じ・み・そ」の徹底—
- 2 学習に対する意欲を喚起し、学力を向上させる —学力の保証—
- 3 進路実現の充実を図る —進路指導の充実—
- 4 心の教育の充実・自立心を育てる —心の学校—
- 5 防災教育を推進する —安心・安全な学校—
- 6 地域の期待にこたえ、信頼される学校をつくる —開かれた学校—

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
普通科	基礎学力の定着と応用力の養成	・朝の徹底反復学習を実施する。 ・CP活用による計画と振り返りを行う。	・R80を活用しながら生徒の相互評価や教師評価、全体評価を実施する。 ・実施にあたってはロイノートやiPadを利用し、今年度から導入されたICT機器の運用頻度を高めていく。
	視野の拡大と可能性の追求	・ベネッセ総合学力テスト(1・2年)や全統模試を実施する。(3年) ・普通科実力テスト(1～3年)、普通科夏休み講座(1・2年)を実施する。	・模試データによる客観的数値データの活用と共有および蓄積する。(進路課連携)
	難関大への挑戦	・「進学実績を向上させよう！」と言える職員集団を作るとともに、生徒の意識改革に着手する。	・理数教育の充実を図るとともに文理選択や志望校選びに対する体系的指導を蓄積していく。
	人間力の育成	・修文メソッドにICT(学び方)・探究(考え方)・SDGs(社会との関わり方)を加え、普通科の学びの特色化を図る。	・学力のみならず、主体性・協調性・振り返る力を育てていながら、互いの違いが尊重でき、個人の権利と責任、人種・文化の多様性の価値など、社会の中で円滑な人間関係を維持できる力を育む。
情報会計科	積極的な資格取得と納得のいく進路実現	・夏季補習、検定直前補習、朝補習の充実 ・緻密な進路指導 ・個人面談の充実	・組織的な検定補習によって、卒業時に全員が技術顕彰の受領を目指す。 ・進学希望者には、個人面談を実施するとともに、資格を利用した推薦制度の紹介をする。 ・就職希望者には、個人面談や面接練習等を実施し、きめ細やかな指導をする。
	社会人基礎力の育成とICT教育の充実	・報連相の徹底 ・凡事徹底(挨拶・時間・身だしなみ・掃除) ・ICT教育の充実と活用	・報連相を徹底することで、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ・挨拶、時間、身だしなみ、掃除等の凡事徹底を通して、社会人基礎力を身につけさせる。 ・ICT機器やクラウドを活用し、最先端のICT教育を推進する。
家政科	基本的な生活習慣と基礎学力の定着	・毎日の家庭学習や反復学習への取り組み ・「報・連・相」と「あ・じ・み・そ」の徹底	・毎日の家庭学習を通して、計画的に学習に取り組む習慣を身につけさせる。 ・「報・連・相」の大切さを意識させ、社会人となるための基本を身につけさせる。 ・ファッションショーを意識し、美しい開始や終了の挨拶ができるようにする。
	専門教科の技術の習得	・作品完成までのプロセスの重視 ・系列大学や系列幼稚園との連携 ・地域との連携	・1年次から、提出期限を意識した作品製作に取組ませ、3年次のファッションショーに向けての基礎を培う。 ・大学や幼稚園での講義や実習の機会を多くもち、保育をはじめとする各分野への興味関心を高める。 ・地域社会のイベントに積極的に参加させ、地域における自分たちの役割について意識させる。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・挨拶、礼儀、時間厳守など基本的な生活習慣の徹底 ・衛生管理の徹底	・授業後に調理の練習ができるように、調理実習室を開放する。 ・「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰」を意識した指導をする。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・積極的に地域への広報活動を実施する。 ・コメダ珈琲店と密に連絡を取り合い、共同企画を立案する。
総務課	防災教育・安全教育の推進	・防災教育の推進、防災マニュアルの周知徹底	・危機を予防するために、安全点検・防災訓練・教員研修を実施し、安全に行動できる知識や能力を育成する。
	PTAや同窓会組織の充実	・PTA活動の主体的な取り組みへの支援 ・同窓会活動の充実やネットワークづくり	・校務支援システム(BLEND)やホームページを通して取組を紹介し、協力連携を図り、PTAや同窓会の活動を主体的・活発的に行うため、提案や支援をする。
教務課	生徒の学力向上	・基礎学力の定着と応用力の養成	・学習コンクールで60点以上、到達度テストでの運動課題配信を促し、基礎学力の定着を図る。 ・模擬試験を積極的に受験させ、入試に対応できる能力を身につけさせる。
		・英語教育と理数教育の充実	・授業以外にECCとの連携、オンライン英会話、語学研修を通し興味関心を抱かせ、英語力向上を図る。 ・教員、施設、設備を充実させ、理数教育を強化する。
	教員の授業力向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・始業や終業のけじめと挨拶を徹底する。 ・ICTの授業を取入れ、アダプティブな対応で生徒の学習効果の向上に努める。
	図書館の利用促進	・読書環境の整備	・良質な読書環境を整備する。 ・図書館を授業・特別活動等で計画的に利用し、生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
生徒課	・時代背景及び共学化に伴う生徒指導面の見直し	・学校生活を進めながら見直す点がないかを考える	・前例にとらわれず考察する。 ・生徒会との連携を図る。
	・教職員の働き方及び共学化に伴う部活動の見直し	・各部の登録者数による統廃合、新規部活動の検討	・生徒のモチベーションを下げないよう慎重に進める。
	・生徒主体となる学校行事、委員会活動の見直し	・生徒会との連携を強化する	・生徒が主体となれるよう働きかけをしていく。
進路課	・国公立大学、難関私立大学への合格者の増加	・学力の伸長と難関校へのチャレンジ精神を養う	・クラス指導や教科指導と協力し、学校全体で学力を伸長させる意識を共有する。
	・地元企業への就職内定	・地元で活躍する企業との連携を強化する	・地元の企業の社会での活躍を意識させ、郷土愛を醸成する。
	・求人先の新規開拓	・共学化したことをアピールする	・コロナの感染状況を見ながら、できる限り企業訪問を積極的に行う。
広報課	情報発信と広報活動の充実	・ホームページ、SNS、学校案内、広報活動を通して、本校の魅力を継続的に発信する	・ホームページ、SNS、学校案内等、より一層見やすく魅力的なものにしていく。 ・学校説明会、入試説明会等のPRをより一層拡充し、本校の魅力を発信する。